



河津桜（東かがわ市 湊川）

撮影 和田大助

Topics

- 診療科紹介 整形外科
- 産婦人科領域でのロボット支援手術を開始しました
- 令和6年度 みんなの病院災害対策訓練を実施しました
- 感染管理認定看護師が2名になりました
- 地域医療・患者支援センターからのお知らせ

診療科紹介

整形外科

健康寿命延伸のため、 整形外科が果たす役割

厚生労働省の発表によると、2022年の日本人の平均寿命は男性81.05年、女性87.09年とされ、一方で『健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間』とされる健康寿命は男性72.68歳、女性75.38歳と、約10年の差が認められています。

『健康上の問題で日常生活が制限される』原因として整形外科領域の疾患が注目される中、我々整形外科は大きな役割を果たしています。

実際、介護が必要になる原因として、骨折転倒、関節疾患などの整形疾患が26.3%にも及びます。現代では人生100年が珍しくなくなり、健康寿命の延伸がますます重要となっています。

この課題に対処するためには、整形外科が果たす役割は大きな意味を持っています。

当院での取り組み

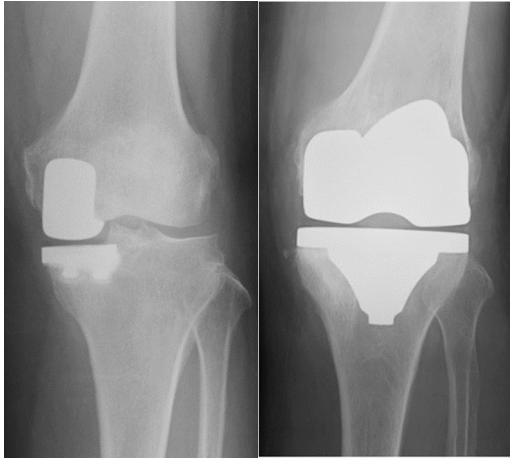
■ 変形性膝関節症に対する人工 関節置換術

変形性膝関節症や関節リウマチ、骨壊死などによる膝の痛みで日常生活に支障をきたしている方に対し、治療を行っています。ナビゲーションシステム（図1）を用いて手術を行うことで、より正確で安全な手術が可能となっています。



（図1）

患者さまの状態に応じた最適な手術方法（図2）を選択し、早期回復を目指したリハビリを提供。手術技術の向上により、傷口を小さくし、術後の痛みを軽減する低侵襲手術も積極的に導入しています。



(図2)

■ 骨折治療と骨粗鬆症対策

高齢者の転倒による骨折は、寝たきりにつながる大きな要因の一つです。当科では、大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折などに対し、早期手術とリハビリテーションを組み合わせた治療を行い、可能な限り早く自立した生活に戻れるようサポートしています。さらに、骨折の再発を防ぐため、骨粗鬆症の評価と治療も重要視し、適切な薬物療法や生活指導を提供しています。

■ FLS（骨折リエゾンサービス） チームの立ち上げ

当院では最近、FLS（Fracture Liaison Service：骨折リエゾンサービス）チームを立ち上げました。これは、骨折後の患者さまの骨密度検査を徹底し、骨粗鬆症の診断・治療を進めることで、二次骨折を防ぐ取り組みです。整形外科医、リハビリスタッフ、看護師、薬剤師、栄養士などが連携し、患者さま一人ひとりに最適な治療プランを提供しています。

■ 骨折治療と骨粗鬆症対策

当院では、かかりつけ医の先生方と連携しながら、地域全体での健康寿命延伸に貢献することを目指しています。紹介患者さまの受け入れや、治療後のフォローアップをスムーズに行える体制を整えておりますので、診療のご相談やご紹介について、お気軽にお問い合わせください。

（文責 吉田 雄介）



外来担当表

外科／外来担当表	月	火	水	木	金
午前 受付・診療／ 8～11時	齊藤 仁彦 (予約のみ)	平瀬 公威	吉田 雄介	齊藤 仁彦	吉田 雄介
		岡 邦彦	山本 修士		
			平瀬 公威 (初診のみ)	平瀬 公威	磯崎 竜一
午後 受付・診療／ 13～16時	手術・検査（要問い合わせ）				

産婦人科領域でのロボット支援手術を開始しました

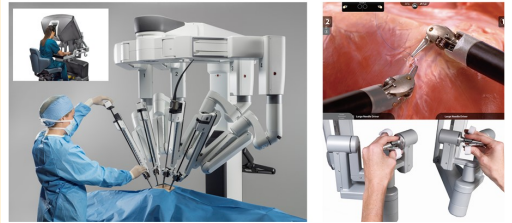
傷が小さく負担の少ない ロボット支援手術

当院では、2021年4月にダヴィンチXiを設置し、泌尿器科において前立腺癌・腎癌・腎盂尿管癌、外科において胃癌・大腸癌に対応してまいりました。2024年10月から、産婦人科においても子宮全摘出術などに対応しております。

対象の患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

産婦人科 副院長 加藤 剛志

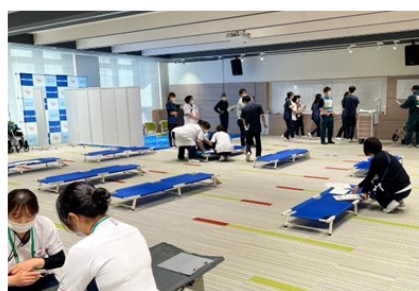
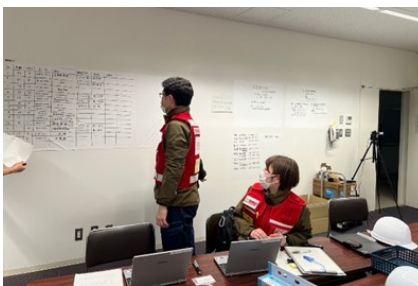
手術支援ロボット da Vinci Xi® サージカルシステム



当院産婦人科におきましては、これまで、妊娠週数の早い妊婦さんも当院で継続して妊婦健診を実施していましたが、現在の診療体制を維持するため、今後は、「セミオープンシステムを利用」又は「32週頃から当院へ転院」とする方針とさせていただきます。 分娩予定日が令和7年4月以降の患者さんのご紹介に関しては、32週頃に転院予約をお受けいたします。（合併症妊娠や切迫早産等の場合は、適宜ご紹介ください。）

令和6年度 みんなの病院災害対策訓練を実施しました

令和6年12月7日、四国DMATブロック実働訓練（香川県開催）と合同開催でみんなの病院災害訓練を実施しました。高松市内陸を震源としたM7.0直下型地震が発生、当院近くのため池が決壊したことが想定されました。災害対策本部立ち上げの初動体制、各所トリアージエリアでの行動確認等、それぞれの役割を再認識した訓練となりました。



感染管理認定看護師が2名になりました

2019年末から全世界で猛威を振るったCOVID-19のパンデミックは、人々の生活はもとより、病院や診療所・介護施設等においても、感染対策の在り方が見直されるようになりました。同時に、感染管理認定看護師の需要も今まで以上に増え、当院への期待とそれに伴う役割も明確化されたように思います。

私はこの度、当院2人目の感染管理認定看護師として命を受けました。感染管理認定看護師は、感染管理に関する専門的な知識と技術をもって、看護を実践し、看護職やその他の医療従事者に対する指導・相談などの業務を担います。今後、医療関連感染サーベイランスの参加、院内感染事例や防止対策の状況把握、感染

予防・管理システムの構築、院内研修もより充実できるよう取り組んでいきたいと思っております。

さらに、感染管理認定看護師が2人体制になったことで、施設内のみではなく、地域の感染症拡大防止を働きかける機会も増やすことができると考えています。他の医療介護分野との連携を図り、感染管理の視点から市民の皆様が安心して過ごせるよう高松市医療の最適化に努めて参ります。

感染管理認定看護師
美濃 真人



地域医療・患者支援センターからのご案内

当院では、広報紙等のデジタル化等への変更を、こちらのQRコード、メール、お電話にて随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

広報紙、セミナー等のお知らせは、当院のホームページにも掲載しております。

変更等はこちらから→



当院WEBサイトにも、各種掲載しております！




【問合せ先】

地域医療・患者支援センター 橋本・杉原
087-813-7171 (代)
spau66r9@dance.ocn.ne.jp

FAX予約を
お願いします



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日(月～金) 8時30分～18時00分 土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ
電話	(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
FAX	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル ) ※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。